東日本大震災一周年にあたり
追悼と再生を願う合同祈祷集会

2012年3月11日（日）

日本キリスト教協議会
カトリック中央協議会

表紙：「キリストの復活（冥府降り）」。モスクワ、トレチャコフ美術館所蔵、15世紀末

ま え が き

一年前の東日本大震災……いや、一年前と、過去の出来事にはなりません。今に継続している災害・被害であり、苦難であり、悲劇です。今もまだなお継続中であり、多くの方々が被災の受難の渦中で苦しんでおられます。救援・支援に携わっている多くの方々の苦労があります。実際に故郷から追いやられた方々、農業・牧畜・漁業など壊滅的な打撃を受けた方々の苦悩があります。原発はわたしたちに大きな課題を突き付けています。放射性物質の汚染による被曝被害は予断をゆるさないものがあります。

それは、2011年3月11日、午後2時46分から始まりました。震源地は、宮城県沖約130キロ、マグニチュード9.0、国内観測史上最大規模の地震でした。未曽有の大災害です。地震による被害、大津波による被害、そして東京電力福島第1原発事故による被害、その被害の甚大さは計り知れません。

2011年12月半ばの時点で、調査機関によって多少の異同はありますが、数字に表された受難の現状です。

死者数、15,842名。重軽傷者数、5,890名。行方不明者数、3,485名。

避難者数は、332,691名です。その内訳は、避難所（学校・公民館・ホテル・旅館等）に、1,198名。仮設住宅・公営住宅・民間住宅等に、314,255名。知人・親戚宅に、17,238名。

ちなみに、福島県から県外に避難されている方々は、59,464名。宮城県から県外に、8,603名。岩手県からは、1,536名の方々が、県外で避難生活をされているそうです。

この方々は寄留の民です。住み慣れた家を追われ、これまでの生活から断絶して、職を離れ、多くの方々は将来の生活の目処を失っておられます。

ここに挙げられている数字が単なる数字に尽きるものではないことを、わたしたちはよく知っています。確かに十分知っておりますが、さらにもっともっと、その数字の一つ一つの奥底にひそむ、お一人お一人の実生活、肉声、その

具体的な苦悩と溢れるほどの悲哀に心を重ねなければなりません。

「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ」（一コリ12・26）、「泣く人と共に泣き」（ロマ12・15）、わたしたちは心を一つにして祈らなければなりません。

3月11日が巡ってきます。

わたしたちの思いと祈りが、一つに結ばれますように。

そんな思いをこめながら、この祈りの小冊子を配布させていただきます。定型文の祈りの言葉に、それぞれの思いを集め、祈りをこめて、この苦難の時を経て、犠牲になり、天国にある方々、苦難のただ中にある方々、その支援にあたっている方々のために、その方々と共に、お祈りいただければと存じます。

東日本大震災一周年にあたり追悼と再生を願う合同祈祷集会

前奏

（一）開祭

招きの言葉

司式者：詩編作者は語ります。「わたしは主を愛する。主は嘆き祈る声を聞き、わたしに耳を傾けてくださる。生涯、わたしは主を呼ぼう」と。東日本大震災から一年を迎えるにあたり、思いを同じくするすべての人と心を合わせて、犠牲となった方々を偲び、慰めと希望、新しい勇気と知恵を求めてわたしたちの祈りをささげましょう。

あいさつ

司式者：父と子と聖霊の御名によって。

会　衆：アーメン。

司式者：主イエス・キリストによって、
神である父からの恵みと平和が皆さんと共に。

会　衆：また、あなたと共に。

司式者：皆さん、今日までのわたしたちの思い・言葉・行いが、神の御心にかなうものであったかを思い起こし、心を改めましょう。

憐れみの賛歌（キリエ）

司式者：主よ、憐れんでください。

会　衆：主よ、憐れんでください。

司式者：キリストよ、憐れんでください。

会　衆：キリストよ、憐れんでください。

司式者：主よ、憐れんでください。

会　衆：主よ、憐れんでください。

集会祈願

司式者：祈りましょう。

慈しみ深い神よ、あなたは苦難のときの逃れ場、疲れ果てたときの力、悲しむときの慰めです。あなたの民を力づけてください。苦しみに打ちひしがれる人々が、あなたの憐れみに支えられて立ち上がることができますように。聖霊の交わりの中で、あなたと共に世々に生き、支配しておられる御子、わたしたちの主イエス・キリストによって。

会　衆：アーメン。

（二）言葉の典礼

（朗読箇所は地域の意向に合わせ自由に選ぶ。以下の朗読箇所から選ぶこともできる。）

第一朗読

(1) 創世記 8・1－12 「見よ、鳩はくちばしにオリーブの葉をくわえていた」

(2) イザヤ 58・6－12 「わたしの選ぶ断食とはこれではないか」

(3) 哀歌 3・17－26 「主の救いを黙して待てば、救いを得る」

答唱詩編

(1) 詩編 80・2ac＋3b、5－7（『典礼聖歌』80①②③）

(2) 詩編 85・2－4、5－6、7－8（『典礼聖歌』81①②、111①②、127①②）

(3) 詩編 123・1－2a、2bcd（『典礼聖歌』116①栄唱）

第二朗読

(1) ローマ 8・18－30「神を愛する者たちには、万事が益となるように共に働く」

(2) ローマ8・31b－39 「死も、命も、神の愛からわたしたちを引き離すことはできない」

(3) ヤコブ 1・2－4、12 「試練を耐え忍ぶ人は幸いです」

(4) 黙示録 21・1－5a、6b－7 「もはや悲しみも嘆きも労苦もない」

詠唱

(1) 詩編 33・22
(2) 二コリント 1・3b－4a
(3) ヤコブ 1・12

福音朗読

(1) マタイ 7・7－11 「だれでも、求める者は受ける」
(2) マルコ 4・35－41 「いったい、この方はどなたなのだろう。風や湖さえも従うではないか」
(3) ルカ 18・1－8 「神は、叫び求めている選ばれた人たちをほうっておかれることがあろうか」

説教

信仰宣言（ニカイア・コンスタンティノポリス信条を唱える）

私たちは、ただひとりの神、すべてを支配される父、天と地と見えるものと見えないもののすべての造り主を信じます。

またただひとりの主イエス・キリストを信じます。主は神のみ子、御ひとり子であって、世々に先立って父から生まれ、光からの光、まことの神からのまことの神、造られたのでなくて生まれ、父と同質であって、すべてのものは主によって造られました。主は人間である私たちのため、私たちの救いのために、天からくだり、聖霊によりおとめマリアによって受肉し、人となり、私たちのためにポンティオ・ピラトのもとで十字架につけられ、苦しみを受け、葬られ、聖書にあるとおり三日目に復活し、天にのぼられました。そして父の右に座しておられます。また生きている者と死んだ者をさばくために、栄光のうちに再

び来られます。そのみ国は終わることがありません。

また聖霊を信じます。聖霊は主、いのちの与え主であり、父から出て、父と子と共に礼拝され、共に栄光を帰せられます。そして預言者によって語られました。
私たちは、ひとつの聖なる公同の使徒的な教会を信じます。
罪のゆるしのためのひとつのバプテスマを認めます。
死者の復活と、来るべき世のいのちを待ち望みます。
アーメン。

（日本キリスト教協議会共同訳）

奉献

（ここで、献金がなされてもよい。）

（三）共同祈願（連祷）

（司式者の言葉に続いて自由に祈ることができる。下記の例文を利用してもよい。）

司式者：わたしたちと悲しみを共にしてくださる主キリストと共に父である神に祈りましょう。
先唱者：神よ、わたしたちの声を聞いてください。それは、不慮の死を迎えた犠牲者たちの声だからです。（自由な言葉で続ける）
会　衆：主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。
（沈黙）
先唱者：神よ、わたしたちの声を聞いてください。それは、愛する人を失った悲しみの中にある人たちの声だからです。（自由な言葉で続ける）
会　衆：主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。
（沈黙）
先唱者：神よ、わたしたちの声を聞いてください。それは、放射能の脅威によ

って故郷から離れなければならなくなった人々の声だからです。（自由な言葉で続ける）

会　衆：主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

（沈黙）

先唱者：神よ、わたしたちの声を聞いてください。それは、被災した方々に寄り添うために心を尽くしている人々の声だからです。（自由な言葉で続ける）

会　衆：主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

（沈黙）

司式者：恵み豊かな父よ、苦しみと悲しみの中からあなたに叫ぶわたしたちを顧みてください。あなたの慈しみ深いはからいに、いつも心から信頼することができますように。わたしたちの主イエス・キリストによって。

会　衆：アーメン。

主の祈り

司式者：主が教えてくださった祈りを、心を合わせてささげましょう。

会　衆：天におられるわたしたちの父よ、
み名が聖とされますように。
み国が来ますように。
みこころが天に行われるとおり地にも行われますように。
わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。
わたしたちの罪をおゆるしください。わたしたちも人をゆるします。
わたしたちを誘惑におちいらせず、悪からお救いください。
国と力と栄光は、永遠にあなたのものです。アーメン 。

（聖公会／ローマ・カトリック共通訳）

（四）派遣

結びの祈願

司式者：祈りましょう。

慈しみ深い父よ、すべての悪からわたしたちを救い、傷ついたわたしたちに平和をお与えください。わたしたちが、あなたの憐れみに支えられ、新しい勇気をもって、すべての困難に打ち勝つことができますように。わたしたちの希望、主イエス・キリストによって。

会　衆：アーメン。

報告　（ここで、一年の振り返りを入れることができる。）

派遣の祝福

司式者：主は皆さんと共に。

会　衆：また、あなたと共に。

司式者：全能の神、父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にありますように。

会　衆：アーメン。

司式者：東日本大震災から一年にあたり、犠牲となった方々を偲び、慰めと希望、新しい勇気と知恵を求めて祈る合同礼拝を終わります。
行きましょう。主の平和のうちに。

会　衆：神に感謝。

讃美歌

後奏

日本キリスト教協議会（NCCJ）
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-24
TEL 03-3203-0372　　FAX 03-3204-9495

カトリック中央協議会
〒135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館内
TEL 03-5632-4445　　FAX 03-5632-4465